

今月のトピック

政治

- ◆6月国政選挙及び欧州議会選挙(世論調査概要)
- ◆道上大使の対日友好議連 GERB 所属議員及び CC 所属議員との懇談

経済

- ◆Moto-Pfohe 社(住友商事)による国境警備隊車両の受注・引き渡し
- ◆道上大使とタコフ中小企業庁長官との会談(大阪・関西万博関連)

その他

- ◆日本友の会及びスポンサーの Friendship Night の開催
- ◆ソフィア大学日本文化祭の実施
- ◆ソフィア市立図書館への日本関連図書寄贈式典の開催

※月報は、ブルガリア各種メディアの報道等を取りまとめたものであり、在ブルガリア日本大使館の意見や判断を反映するものではありません。

※月報の個別メール配信を希望される方は、当館メールアドレス(emb-jp-bg@sf.mofa.go.jp)まで御連絡下さい。

政治

◆6月9日国政選挙及び欧州議会選挙(世論調査概要)

▶国政選挙に関する当地主要世論調査結果による得票率予想は以下のとおり。

	【Gallup 社】	【Trend 社】
GERB	26.5%	26.1%
CC-DB	16.4%	15.4%
MRF	15.4%	14.9%
再生党	15.1%	14.8%
BSP	8.4%	8.5%
TISP	4.7%	5.5%
Solidary Bulgaria	2.5%	2.4%
Blue Bulgaria	1.5%	1.8%
台頭党	微少	1.2%
The Left!	微少	1.4%

(注) Gallup 社: 調査期間 2024 年 4/22-5/2。Trend 社: 調査期間 2024 年 5/11-18。

▶欧州議会選挙に関する当地主要世論調査結果による得票率予想は以下のとおり。

	【Gallup 社】	【Trend 社】
GERB	26.4%	25.9%

CC-DB	17.5%	16.1%
MRF	14.9%	14.6%
再生党	14.7%	15.1%
BSP	8.2%	8.1%
TISP	4.5%	5.5%
Solidary Bulgaria	2.2%	2.1%
Blue Bulgaria	1.4%	1.8%
台頭党	微少	1.2%
The Left!	微少	1.2%
VMRO	1.3%	微少

(注)Gallup 社:調査期間 2024 年 4/22-5/2。Trend 社:調査期間 2024 年 5/11-18。

◆道上大使の対日友好議連 GERB 所属議員及び CC 所属議員との懇談

▶2024 年(令和 6 年) 5 月 7 日及び 16 日、道上大使は、対日友好議連(64 議員所属)のうち GERB 所属議員及び CC 所属議員と相次いで懇談した。

▶懇談では、厳しさを増す国際情勢の中で、両国が議会間交流のほか、経済関係、文化交流、学術関係等を強化するための様々なアイデアが議論された。

▶両会派の対日友好議連所属議員とも、日本との交流活性化のために日本側と今後緊密に連絡、意見交換していきたい旨述べた。



CC 所属議員と道上大使 (右から 3 番目)

経 済

◆Moto-Pfohe 社 (住友商事) による国境警察隊車両の受注・引き渡し

▶5 月 10 日の BTA 通信は、国境警察隊に納入された 360 台の警備車両のうち、最初の 40 台が納入され、その引き渡しセレモニーが行われた旨を報じた。この 360 台は住友商事子会社である Moto-Pfohe 社が受注し、納入したものである。

▶式典に参加したストヤノフ内務大臣は、「公共調達開始からわずか 7~8 か月で本日の納車を実現できた。今回それを実現するために多大な努力をした関係者全員感謝したい」との言葉が述べられた。また、国境警備用のこれらの車両を受け取ったことで、ブルガリアが EU の国境を守るための、より安全かつ信頼性が高いメンバーになれる旨を強調した。

▶ストヤノフ大臣は昨年 6 月 6 日に内務大臣に就任した際、国境警備に不可欠なオフロード装備の車両が不足しているという問題を重視し、高い優先順位で国境警備車両の配備に取り組んだ。また、この取り組みが、ブルガリアの陸路を含めたシェンゲン加盟に繋がり、国としての信頼を高めていくことに繋がることを強調した。

▶式典にはストヤノフ内務大臣に加え、トニー・トドロフ内務副大臣、ディミタル・カンガルジエフ事務総長代行、内務省局長が出席した。また、納入した Moto-Pfohe 社からは磯谷(いそがい)CEO が出席し、祝辞と共に第 1 号車両の鍵を内務大臣に手渡した。



第 1 号車両の鍵を手渡す磯谷 CEO (左)

▶Moto-Pfohe 社は 2017 年に住友商事が買収した同社出資比率 100%の自動車ディーラーでありブルガリアに 17 店舗の販売シェアを持つ。年間販売希望は 4000 台程度であり、約 400 名の社員を雇用している当国随一の自動車販売会社である。自動車販売のみならず、レンタカー、メンテナンス、保険等、顧客のニーズに応えた幅広いサービスを提供している。

◆道上大使とタコフ中小企業庁長官との会談(大阪・関西万博関連)

▶ 5 月 10 日付当地 BTA 通信は、道上大使とタコフ中小企業庁長官との間で 2025 年大阪・関西万博に向けたブルガリアの準備について協議が行われたことを報じた。

▶会談では、2025 年 4 月に開幕する大阪・関西万博でのブルガリアパビリオンの準備は予定通り進んでいることが確認された。道上大使とタコフ長官は、ブルガリアパビリオンのビジョンについて話し合い、1970 年に開催された大阪万博以降、両国間の関係が深まったよう、来年の万博においても古くからの文化や歴史、伝統の尊重、イノベーション等の新しいブルガリアの側面等、両国を結びつけるものを提示すべきである、という意見で一致した。

▶2025 年の大阪・関西万博において、ブルガリアは自前でパビリオンを建設する A ランクを選択している。総予算は 650 万 BGN 強で、そのうち 350 万 BGN 近くがパビリオンのレンタル料であり、パビリオンの建設及びリースは大和リース社が担うこととなっている。

▶次のステップは、ブルガリアパビリオンの内装デザインのコンセプト提案を募る手続きが行われる。タコフ長官によると、この手続きは近日中に発表される予定である。道上大使は、ブルガリアのイメージと文化、ビジネス、科学技術、エコロジー分野におけるブルガリアの功績、そしてブルガリアと日本の良好な関係を表現した内装にすることの重要性を強調した。

▶5 月 30 日の BTA 通信は、2025 年大阪・関西万博へ向けた準備状況を述べたタコフ長官のインタビュー記事を報じた。2022 年 5 月 5 日に閣僚会議で決定された大阪・関西万博へのブルガリアの参加準備は予定通り進んでおり、今のところ滞りはないと述べた。また、タコフ長官は、ブルガリアの人々が、このような国際イベントでのブルガリアの紹介方法がいつも同じであることに気づいたこと、それ故に、今回の万博でブルガリアは、テーマである「私たちの生活のための未来社会のデザイン」の文脈で世界に示すべきものがあると強調した。また、来年の万博に参加することで、ブルガリアと日本との良好な関係強化を国、民間、非政府部門すべてにおいて実現すべきであると述べた。



タコフ長官 (左) と道上大使 (右)

その他

◆日本友の会及びスポンサーの Friendship Night の開催



- ▶ 5月29日、日本大使公邸において、日本友の会及びスポンサーの Friendship Night2024 が開催された。ビタノフ教育科学副大臣、パンドヴァ国民議会議員、ゲオルギエフ・イズグレフ区長、ゲノヴァ・ソフィア市副市長等の他、ジェコフ会長を初めとする日本友の会メンバー、昨年の日本文化月間スポンサー企業、メディア関係者等約100名の出席を得て、日本文化普及、日本語教育推進を始めとする分野での最近の活動状況等について参加者間で活発な意見・情報交換が行われた。
- ▶ 当日は道上大使による挨拶のほか、ブルガリア国営ラジオ児童合唱団による日本の曲の披露、ジェコフ日本友の会会長による同会の活動のあゆみに関するプレゼンテーション、2022年度にAFSプログラムを通じて訪日したソフィア市第138西洋・東洋言語学校在学学生による体験談、ペトコヴァ・ソフィア大学古典現代言語学部長による、本年5月に実施された同大学代表团による訪日報告等が行われた。また、上記に加え、公邸料理人によるお寿司のデモンストレーションが実施されたほか、日本酒や焼酎を始めとする日本産酒類が提供された。本件は当地の主要メディアにも取り上げられた。



◆ソフィア大学日本文化祭の実施



- ▶ 5月12日、ソフィア大学東洋言語文化センター及び本校講堂にてソフィア大学日本学科主催第17回日本文化祭が開催された。冒頭において、道上大使は、ソフィア大学副学長ほか大学関係者、日本文化愛好市民ら多数の来場者を前に挨拶を行った。

▶その後、学生たちは本校講堂において、演劇（森鷗外『高瀬舟』）、音楽（邦楽・琴・カラオケ等）、踊り、武道（空手・合気道・空道・剣術）など、日本の現代と伝統を組み合わせた様々な発表を行った。

◆ソフィア市立図書館への日本関連図書寄贈式典の開催



▶5月23日、ソフィア市立図書館において、日本関連図書寄贈式典が行われた。今回寄贈された図書は計32冊であり、日本財団が実施する「日本理解促進のための図書寄贈事業」(READ JAPAN PROJECT)（注：日本財団は平成20年から海外のオピニオンリーダーや知識層の現代日本事情理解促進を目的に、日本に関する英文図書を海外の教育・研究機関に寄贈する事業を実施しており、これまでに1,100か所以上の機関に寄贈を行っている。なお、2022年より東京財団政策研究所が、日本財団からの助成を受けて、本事業を実施）の一環として、寄贈が行われた。

▶当地では、本事業を通して、これまでにソフィア大学、ヴェリコ・タルノヴォ大学及びソフィア建築・土木工学・測量大学に対して書籍の寄贈が行われてきた。寄贈式典に出席した道上大使は、挨拶の中で文化や歴史、文学など多様なジャンルにわたる寄贈図書を通じて、日本への更なる理解と関心が深まることを期待する旨述べた。

指標	
GDP 成長率(年率予測:最新値) ※EC データ	24 年:1.9% 25 年:2.9%
消費者物価指数(4 月) ※ブルガリア統計局データ	+0.3%(前月比) +2.4%(前年同月比)
失業率(4 月) ※ブルガリア労働省	5.7% (前月比-0.1%)
公的債務残高/GDP(含む国および地方:3 月)	20.6% (前月比+0.6%)

※ブルガリアのマクロ経済指標は、ブルガリア国立銀行HPよりご覧になれます
<https://www.bnb.bg/Statistics/StMacroeconomicIndicators/index.htm?toLang=EN>。